USBオーディオ入出力アダプタ

D2VOX

取扱説明書

94384-02

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
3) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、株式会社アイ・オー・データ機器サポートセンターまでご連絡ください。
4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
5) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当します。したがって、国外に持ち出す場合には、必ず日本国政府の輸出許可申請など必要な手続きをお取りください。
6) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
7) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
8) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
9) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関る設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
10) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
11) お客様は、本製品を一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
12) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
13) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。

はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、ありがとうございます。
ご使用の前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いします。

本製品を安全にお使いいただくために

本製品をお使いになる際は、ivページ【安全にお使いいただくために】を必ずお読みください。

本書の見方

接続前の準備を行います。必ずお読みください。
･････････第１章

↓

本製品のドライバをインストールします。
･････････第２章

↓

本製品の接続の一例を紹介します。
･････････第３章

本書での呼び方

呼び方	意　味
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Professional Operating System および Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional Operating System
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition Operating System
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Second Edition Operating System
Windows	Windows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 2000の総称

目次

1 ご使用になる前に

2 インストールする

3 使い方いろいろ

付録

安全にお使いいただくために

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

■警告および注意事項

	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵記号の意味

この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例）　「発火注意」を表す絵表示

この記号は禁止の行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例）　「分解禁止」を表す絵表示

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例）　「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠ 警告

厳守

本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。

分解禁止

本製品をご自分で修理・分解・改造しないでください。

火災や感電、やけど、故障の原因となります。

修理は弊社修理係にご依頼ください。分解したり、改造した場合、保証期間であっても有償修理となる場合があります。

電源プラグを抜く

煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止してください。

電源を切ってコンセントから電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります.

発火注意

本製品の取り扱いは、必ず取扱説明書で接続方法をご確認になり、以下のことにご注意ください。

ケーブルにものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などは行わないでください。火災や故障の原因となります。

水濡れ禁止

本製品を濡らしたり、水気の多い場所で使用しないでください。

お風呂場、雨天・降雪中、海岸・水辺での使用は火災・感電・故障の原因となります.

厳守

AC アダプタの取り扱いは以下のことにご注意ください。

発火注意

- ACアダプタを使用する際は、必ず添付のACアダプタもしくは指定のACアダプタを使用してください。
- ACアダプタの上にものをのせたり、かぶせたりしないでください。火災・感電・故障の原因となります
- ACアダプタを保温・保湿性の高いもの（じゅうたん・スポンジ・ダンボール箱・発砲スチロールなど）の上ではご使用にならないでください。
- ACアダプタはAC100V以外の電圧で使用しないでください。
  添付のACアダプタは、AC100V専用です。指定以外の電源電圧で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

⚠注意

本製品を使用中に誤った操作をしてデータが消失した場合でも、データの保証は一切いたしかねます。

故障に備えて定期的にバックアップを行ってください。

本製品は以下のような場所（環境）で保管・使用しないでください。

故障の原因となることがあります。

●振動や衝撃の加わる場所
●直射日光のあたる場所
●湿気やホコリが多い場所
●温湿度差の激しい場所
●熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）
●強い磁力電波の発生する物の近く
（磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など）
●水気の多い場所（台所、浴室など）
●傾いた場所
●本製品に通風孔がある場合は、その通風孔をふさぐような場所での使用（保管は通風孔をふさぐようにしてください。）
●腐食性ガス雰囲気中（Cl_2、H_2S、NH_3、SO_2、NO_Xなど）
●静電気の影響の強い場所
●保温性・保湿性の高い（じゅうたん・スポンジ・ダンボール箱・発砲スチロールなど）場所での使用（保管は構いません。）

本製品は精密部品です。以下のことにご注意ください。

●落としたり、衝撃を加えない
●本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
●重いものを上にのせない
●そばで飲食・喫煙などをしない
●本製品内部に液体、金属、たばこの煙などの異物を入れない

厳守

本製品のコネクタ部分や部品面には直接手を触れないでください。

静電気が流れ、部品が破壊されるおそれがあります。また、静電気は衣服や人体からも発生するため、本製品の取り付け・取り外しは、スチールキャビネットなどの金属製のものに触れて、静電気を逃がした後で行ってください。

その他の留意事項

- 本製品を使用する場合、必ずACアダプタを接続し、コンセントから電源を供給してください。

本製品の特徴

本製品はパソコンのUSBインターフェイスに対応した、USBオーディオ入出力機器です。DVD、CD、MP3をはじめとするパソコンのあらゆる音声も本製品を用いれば、そのままUSBオーディオのクリアな音質で出力することができます。
また本製品は音声入力端子を持っており、音声の出力だけでなく外部オーディオ機器から音声をパソコンへデータとして取り込むことができます。取り込んだ音声は添付の音声編集ソフト等を用いて自由自在に加工・編集することが可能です。

◆パソコンからドルビーデジタル5.1ch、DTS音声の出力が可能

本製品と添付のソフトウェアWinDVD 3.1を用いれば、DVDのドルビーデジタル5.1ch、DTS音声をパソコンから出力できます。本製品とドルビーデジタル、DTSデコーダ内蔵のオーディオ機器や5.1chスピーカシステムを用いれば、お持ちのパソコンで映画館並の音質を楽しむことができます。

◆パソコンでオーディオ編集・加工

本製品は、パソコンにあらゆる音声を簡単に取り込むことができます。取り込んだオーディオデータの編集／加工は添付の多機能オーディオ編集ソフト「DigiOnSound Light」で行えます。DigiOnSoundの多彩なエフェクト処理を使った「オリジナル音声作成」や、マルチトラック編集機能を使った「複数の異なる音の重ね合わせ作業」等が思いのままに行えます。

◆動作モードLEDランプ搭載

本製品は動作モードに合わせ、LEDランプの色が変わります。
初心者の方でも複雑なオーディオ録音・編集作業が視覚的かつ直感的に行えます。

◆パソコンとMDが簡単につながる

話題のMP3をはじめ、Wave、MIDI、RealAudioストリームなどのあらゆるパソコン上のデジタル音声を、本製品の「光デジタル出力端子」から出力することができます。MDレコーダーをはじめとする光デジタル入力対応デジタル録音機器と組み合わせて、高音質のまま録音が可能です。

◆簡単USB接続

パソコンのふたを開けることなく、簡単に接続が可能。ドライバのインストールなどの作業も簡単な手順で行えます。

◆光デジタルケーブルを標準添付

D2VOXには1.5mの光デジタルケーブルを標準添付しております。
さらにMD、携帯電話等のポータブル機器に採用されている「光ミニプラグ」に対応する光端子変換プラグ(角型→丸型)も同梱しております。

◆DJソフト「DJPAD 2020」(体験版)を添付

添付のDJソフト「DJPAD 2020」と本製品を使えば、オリジナルMDの作成がとても簡単にできます。プレイリストにMP3、CD、WAVEオーディオ等をあらかじめ読み込んで再生するだけで、MDへのデジタル録音が可能になります。
さらに、DJPAD 2020の多彩な機能を用いれば、フェードアウト・フェードインで曲をつないだり、エフェクターで音をリアルタイムに加工しMDに録音することができます。

◆セルフ電源方式を採用

USBバス電源方式に比べ、より安定した動作を保証します。

◆USBハブポートを2基搭載

前面にUSBポートを２ポート搭載していますので、USB機器の増設も容易に行えます。

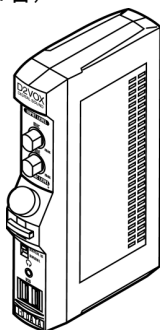
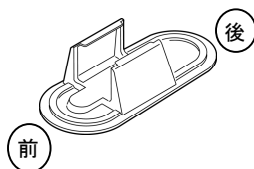
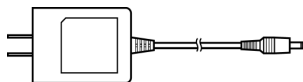
1 ご使用になる前に

この章では、本製品をご使用になる上で必要となる事項を説明しますので、最初に必ずお読みください。

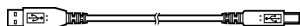
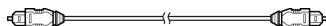
箱を開けたら

ご使用の前に以下のものがそろっていることをご確認ください。
万一、不足品がありましたら、弊社サポートセンターまでお知らせください。

箱・梱包材は大切に保管し、修理などの輸送の際にご利用ください。

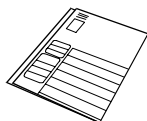
本製品（1台）

□ ACアダプタ（1個）

□ USBケーブル（1本　1m）

□ 光デジタルケーブル（1本　1.5m）

□ 縦置き用スタンド（1個）

□ 光端子変換プラグ（角型→丸型）（1個）

☑ 取扱説明書

☐ ハードウェア保証書（1枚）

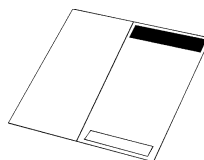
☐ ユーザー登録カード（1枚）

ユーザー登録は済ませましたか？
「ユーザー登録カード」に登録方法が記載されています。
登録してから次ページへ進みましょう。

☐ D2VOXソフトウェア CD-ROM（1枚）

※以下のソフトウェアが入っています。
① WinDVD 3.1
② DigiOnSound Light
③ DJPAD 2020

☐ ハードウェアシリアルNo.シール（1枚）

※ハードウェアシリアルNo.シールをハードウェア保証書とユーザー登録カードに貼ってください。

☐ DigiOnSound Light ユーザー登録カード（1枚）

各部の名称について

本製品の各部の名称は、以下のようになっています。

前面

動作モード表示ランプ
現在の動作モードをランプの色で表示します。
※動作モードとランプの色については39ページを参照。

INPUT LEVEL [mic]（マイク入力レベル調節ツマミ）
マイクからの音量を調節します。

INPUT LEVEL [Line]（ライン入力レベル調節ツマミ）
ライン入力の音量を調節します。

OUTPUT LEVEL（音量調節ツマミ）
ヘッドフォン、ラインアウトの音量を調節します。

POWER（電源スイッチ）
電源を入／切します。電源を入れると青色に点灯します。

DIGITAL IN/NORMAL（モード切替スイッチ）
OPTICAL IN(光デジタル入力端子)からの入力を録音するときは、DIGITAL INに切り替えます。
通常はNORMALでお使いください。

ヘッドフォン端子
ヘッドフォンを接続します。

USB（USBコネクタ） 2ポート
USB機器を接続します。

後面

mic（マイクジャック）
マイクを接続して、音声等を入力します。

LINE IN（ラインインジャック：アナログ入力端子）
オーディオ等のLINE OUTと接続します。

LINE OUT（ラインアウトジャック：アナログ出力端子）
オーディオ等のLINE INと接続します。

OPTICAL IN（光デジタル入力端子）※
光デジタルケーブルを接続します。

OPTICAL OUT（光デジタル出力端子）※
光デジタルケーブルを接続します。

USB（USBコネクタ）
添付のUSBケーブルでパソコンのUSBポートと接続します。

DC-IN
添付のACアダプタを接続します。

※出荷時は、端子にキャップが付いています。
使用する時は、キャップを取り外してください。
また、使用しない時は、必ずキャップでふたをしてください。（キャップは紛失しないようご注意ください。）

動作環境について

■Windows■

対応機種	●USB インターフェイス搭載の NEC PC98-NX シリーズおよび DOS/V マシン※ ※弊社では、OADG 加盟メーカーの DOS/V マシンで動作確認を行っています。 ・CPU：MMX Pentium 166MHz 以上/メモリ:32M バイト以上 (Windows Me/98 SE の場合) ・CPU：MMX Pentium 166MHz 以上/メモリ:64M バイト以上 (Windows XP/2000 の場合)
対応 OS（日本語版）	Windows XP Windows 2000 Windows Me Windows 98 SE
USB コネクタ	本製品接続時に１つ必要（A タイプ）
CD-ROM ドライブ	添付ソフトウェアのインストール時に必要

■Macintosh■

対応機種	PowerPC G3以上で、USBインターフェイス標準搭載の以下の機種 ・PowerMac　・iMac ・PowerBook　・iBook
対応 OS	Mac OS 9.0.4/9.1/9.2.1/10.0.4/10.1
USB コネクタ	本製品接続時に１つ必要（A タイプ）

■ 添付ソフトウェア■

DigiOnSound Light

CPU/メモリ	・CPU:MMX Pentium 166MHz 以上 ・メモリ:32M バイト以上(Windows 98 SE) 48M バイト以上(Windows 2000/Me) 128M バイト以上(Windows XP)
対応 OS	Windows XP/2000/Me/98 SE/98/95/NT4.0(ServicePack4 以上)
ハードディスク	100MB の空き
その他	CD-ROM ドライブ

WinDVD 3.1

CPU/メモリ	・CPU:PentiumⅡ 350MHz 以上(Windows XP は 400MHz 以上) PentiumⅡ 300MHz 以上(DVD 再生支援機能を搭載したグラフィックチップを使用している場合) ・メモリ:32M バイト以上(Windows Me/98 SE/98/95 OSR2) 64M バイト以上(Windows 2000/NT 4.0) 128M バイト以上(Windows XP)
対応 OS	Windows XP/2000/Me/98 SE/98/95 OSR2/ NT4.0(ServicePack4 以上)
ハードディスク	20M バイトの空き
その他	・2 倍速以上の DVD-ROM ドライブ ・ハードウェアオーバーレイをサポートしたグラフィックボード

※上記の条件は、コマ落ちなく再生を行うための最低条件となりますが、システムの状態や再生タイトルによっては、この条件を満たしている場合でも、コマ落ちが生じることがあります。ご了承ください。

DJPAD 2020(体験版)

CPU/メモリ	・CPU: PentiumⅡ 350MHz 以上 ・メモリ:64M バイト以上(Windows 2000/Me/98 SE) 128M バイト以上(Windows XP)
対応 OS	Windows XP/2000/Me/98 SE
ハードディスク	50M バイトの空き
その他	CD-ROM ドライブ,DirectX 対応グラフィックボード

注意していただきたいこと

●本製品の光デジタル入力端子に入力したDVDの音声を録音することはできません。

●本製品を使用しない時は、必ず付属のキャップで光デジタル入出力端子にふたをしてください。端子内部にゴミが入ると正しく音声が出力されない場合があります。

●他のオーディオデバイス（サウンドカード等）との併用は出来ません。
すでにインストールされているサウンドカードや、マザーボード内蔵のオーディオ機能などは自動的に無効になります。既存のサウンドカードを取り外したり、ジャンパやBIOSによってハードウェア的に無効にする必要はありません。
ただし、使用するオーディオデバイスを選択できる機能を持ったアプリケーションでは、併用が可能な場合もあります。

●音楽CDの再生は、「デジタル音声抽出」に対応したドライブでのみ可能です。
お使いのCD-ROMドライブが「デジタル音声抽出」に対応しているかどうかは29ページ【CD-ROMドライブの確認】を参照して確認してください。

●本製品そのものからは音は出力されません。
音声は本製品に接続されたオーディオ機器を通じて出力されます。MDレコーダー等の録音機器と接続する場合には、録音状態または録音待機状態にしておく必要があります。AVアンプ等では入力端子に接続するだけで、音声の出力が可能です。

●MP3データはファイルのままMDには転送されません。
「MP3ファイルからMDへの録音」とは、MP3の再生音がMDにデジタル録音されることを意味します。音声ファイルが本製品を介してMDに転送されるわけではありません。

●著作権保護された音声はデジタル録音することができません。
SCMS(Serial Copy Management System)技術で保護された音声をデジタル録音することはできません。
SCMSとは、DATレコーダーやMDレコーダーなど民生用デジタル・オーディオ機器において、デジタル接続による二世代以降の録音を禁止し、製作者の著作権を保護する機能のことをいいます。
この機能を持つデジタル・レコーダーにデジタル接続で録音した場合、デジタル・オーディオ信号と一緒に、SCMSのための符号も記録されます。この符号が記録されているデジタル・オーディオ信号からは、本製品では再びデジタル接続で録音することはできません。

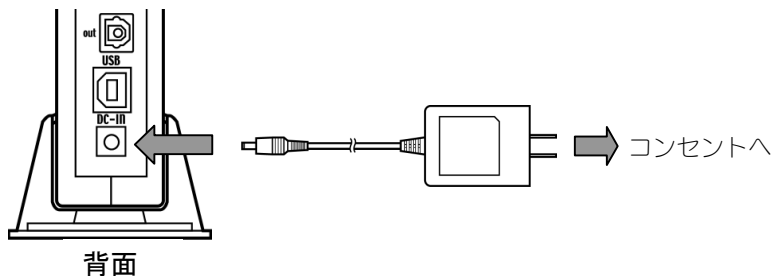
2 インストールする

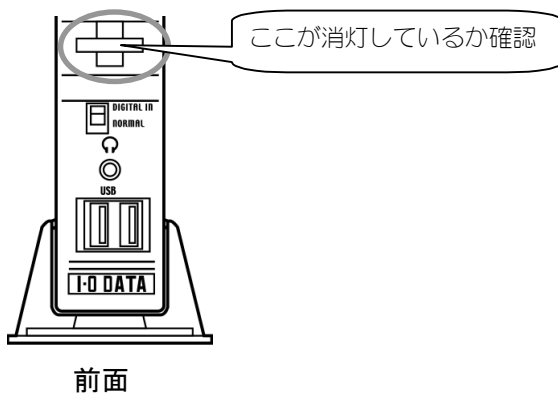
この章では、インストールについて説明します。インストール作業はご使用の OS により異なります。次ページの【インストールの前に】をお読みの後、ご使用の OS にインストールしてください。

インストールの前に

インストールする前に以下の操作を行ってください。

本製品に添付のACアダプタを接続します。

背面

2 電源が切れている(電源スイッチのランプが消灯している)ことを確認します。

前面

確認が終わりましたら、各OS毎のインストールを行ってください。

Windows XPにインストール

Windows　XPを起動します。

コンピュータの管理者のアカウントでログオンしてください。

パソコンのUSBポートと本製品のUSBコネクタを接続します。

Windows XPが完全に起動した状態で接続します。

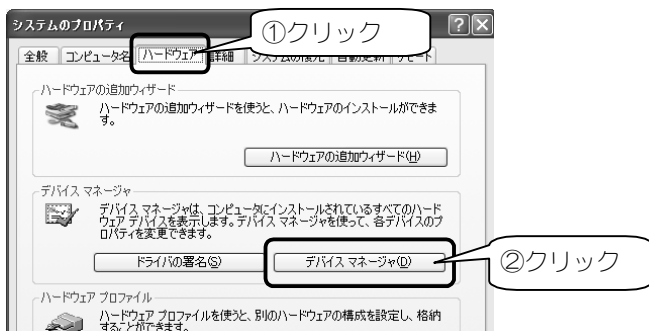
・パソコンの USB ポートの位置は、パソコンの取扱説明書を参照してください。
・USB コネクタは差し込む向きが決まっています。入りにくいときは無理に差し込まず、コネクタの向きを確認してください。

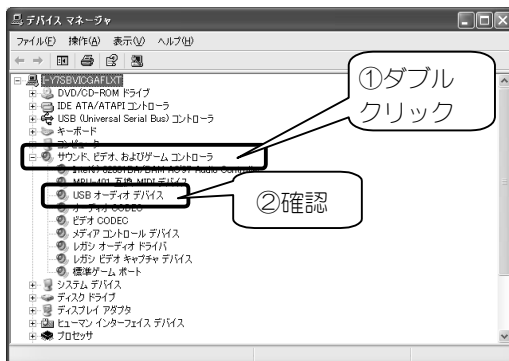
本製品の電源を入れます。

この後 自動的にインストールされ、インストールは終了です。

インストール終了後の確認

[スタート]→[マイコンピュータ](右クリック)→[プロパティ]をクリックします。

[ハードウェア]タブをクリックして、[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。

3

[サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラ]をダブルクリックし、[USBオーディオデバイス]が表示されることを確認します。

これでインストールが正常に行われたことが確認できました。

Windows 2000にインストール

Windows 2000を起動します。

Administorator権限でログオンしてください。

パソコンのUSBポートと本製品のUSBコネクタを接続します。

Windows 2000が完全に起動した状態で接続します。

・パソコンの USB ポートの位置は、パソコンの取扱説明書を参照してください。
・USB コネクタは差し込む向きが決まっています。入りにくいときは無理に差し込まず、コネクタの向きを確認してください。

本製品の電源を入れます。

この後 自動的にインストールされ、インストールは終了です。

インストール終了後の確認

[マイコンピュータ]アイコンを右クリックして、[プロパティ]をクリックします。

[ハードウェア]タブをクリックして、[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。

[サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラ]をダブルクリックし、[USBオーディオデバイス]が表示されることを確認します。

これでインストールが正常に行われたことが確認できました。

Windows Meにインストール

Windows Meを起動します。

パソコンのUSBポートと本製品のUSBコネクタを接続します。

Windows Meが完全に起動した状態で接続します。

・パソコンの USB ポートの位置は、パソコンの取扱説明書を参照してください。
・USB コネクタは差し込む向きが決まっています。入りにくいときは無理に差し込まず、コネクタの向きを確認してください。

3

本製品の電源を入れます。しばらくすると以下の画面が表示されますので、[適切なドライバを自動的に・・・]をチェックし、[次へ]ボタンをクリックします。

[完了]ボタンをクリックします。

これでインストールは終了です。

インストール終了後の確認

[マイコンピュータ]アイコンを右クリックして、[プロパティ]をクリックします。

[デバイスマネージャ]タブをクリックします。
[サウンド、ビデオ、およびゲームのコントローラ]をダブルクリックし、[USBオーディオデバイス]が表示されることを確認します。

これでインストールが正常に行われたことが確認できました。

Windows 98にインストール

Windows 98を起動します。

パソコンのUSBポートと本製品のUSBコネクタを接続します。

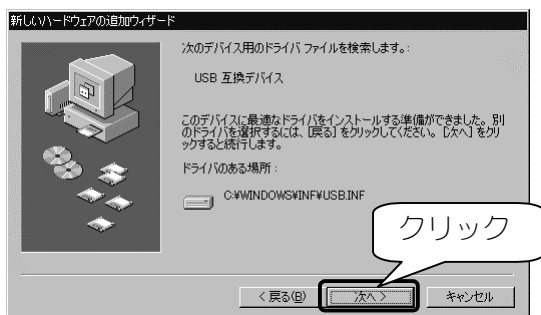
Windows 98が完全に起動した状態で接続します。

・パソコンの USB ポートの位置は、パソコンの取扱説明書を参照してください。
・USB コネクタは差し込む向きが決まっています。入りにくいときは無理に差し込まず、コネクタの向きを確認してください。

本製品の電源を入れます。しばらくすると以下の画面が表示されますので、[次へ]ボタンをクリックします。

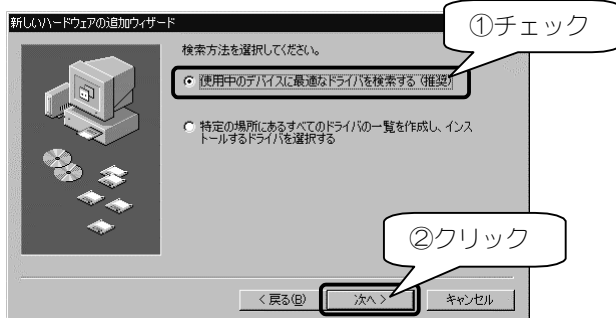
[使用中のデバイスに最適な･･･]をチェックし、[次へ]ボタンをクリックします。

[次へ]ボタンをクリックします。

チェックがついていたらすべてはずします。
そのまま、[次へ]ボタンをクリックしてください。

[次へ]ボタンをクリックします。

[完了]ボタンをクリックします。

8 [次へ]ボタンをクリックします。

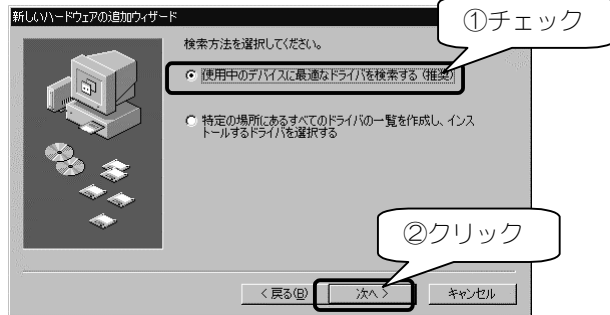
9 [使用中のデバイスに最適な・・・]をチェックし、[次へ]ボタンをクリックします。

[次へ]ボタンをクリックします。

[次へ]ボタンをクリックします。

Windows 98 CD-ROMを要求してくる場合は、指示に従ってCD-ROMをセットし、CD-ROMドライブのWin98フォルダを指定してください。

[完了]ボタンをクリックします。

13 [次へ]ボタンをクリックします。

14 [使用中のデバイスに最適な・・・]をチェックし、[次へ]ボタンをクリックします。

15 [次へ]ボタンをクリックします。

[次へ]ボタンをクリックします。

Windows 98 CD-ROMを要求してくる場合は、指示に従ってCD-ROMをセットし、CD-ROMドライブのWin98フォルダを指定してください。

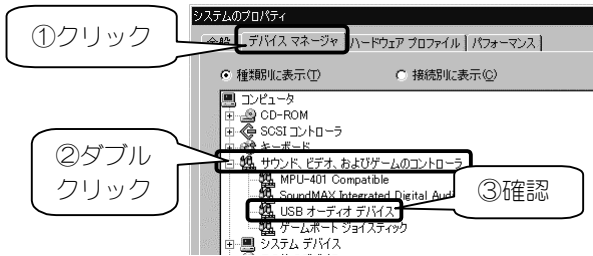
17

[完了]ボタンをクリックします。

これでインストールは終了です。

インストール終了後の確認

[マイコンピュータ]アイコンを右クリックして、[プロパティ]をクリックします。

2 [デバイスマネージャ]タブをクリックします。
[サウンド、ビデオ、およびゲームのコントローラ]をダブルクリックし、[USBオーディオデバイス]が表示されることを確認します。

これでインストールが正常に行われたことが確認できました。

Macintoshにインストール

Macintoshを起動します。

パソコンのUSBポートと本製品のUSBコネクタを接続します。

Macintoshが完全に起動した状態で接続します。

・パソコンの USB ポートの位置は、パソコンの取扱説明書を参照してください。
・USB コネクタは差し込む向きが決まっています。入りにくいときは無理に差し込まず、コネクタの向きを確認してください。

本製品の電源を入れます。

この後 自動的にインストールされ、インストールは終了です。
引き続き、本製品が正しくインストールされたかどうか確認します。

- **Macintosh で使用する場合、パソコンが起動した後に本製品を接続し、本製品の電源を入れてください。**
- **Mac OS 9.0.4/10.0.4/10.1 で使用する場合は音量調節ツマミによる音量の調節はできません。Macintosh の方で調節してください。**

インストール終了後の確認

Mac OS 9.0.4/9.1/9.2.1 をお使いの場合

アップルメニューをクリックし、[コントロールパネル]→[サウンド]を順にクリックします。

2 [入力]タブをクリックし、[装置]欄で[外部マイク]と[外部入力]にそれぞれ「USBオーディオ」が表示されていることを確認します。

3 画面左上の をクリックして、画面を閉じます。

これで、本製品をお使いいただけます。

Mac OS 10.0.4/10.1 をお使いの場合

1 [アプリケーション]をクリックします。

[Utilities]→[Apple System Profiler]をクリックします。

[装置とボリューム]タブをクリック、「D2VOX USB Audio」が表示されていることを確認します。

画面左上の をクリックして、画面を閉じます。

これで、本製品をお使いいただけます。

3 使い方いろいろ

本製品は光デジタルケーブルおよびアナログケーブルを接続できるオーディオ機器なら、何でも接続できます。
ここでは、接続例のほんの一部を紹介します。

光デジタル音声出力搭載機器から デジタル録音する　３６ページ

MD/DAT/CDなどの光デジタル音声出力機能搭載の機器からの出力をパソコンに取り込むことができます。

マイクから音声を録音する （アナログ録音）　３８ページ

マイクからの音声をパソコンに取り込むことができます。

動作モードランプについて　３９ページ

本製品の動作モードをランプの色で表示しています。

モード切り替えスイッチについて　４１ページ

用途に合わせてモード切り替えスイッチを設定します。

添付ソフトウェアについて　４２ページ

本製品に添付されているソフトウェアについて説明します。

スピーカーや MD レコーダー等、本製品への接続機器の取り扱い（本製品との接続個所など）については、接続機器に添付の取扱説明書をご覧ください。

本製品は、パソコン起動中でも USB ポートからの抜き差しおよび電源の入／切が可能です※。必要なときだけ接続し、それ以外は、別の USB 機器を使うといったこともできます。

※ 再生中および録音中は本製品の抜き差しおよび電源の入／切はしないでください。

CD-ROMドライブの確認

本製品で音楽CDの再生を行う場合、「デジタル音声抽出」に対応したCD-ROMドライブが必要です。以下の方法で対応しているかどうか確認してください。
※Macintoshでお使いの場合は、この確認は不要です。

●Windows XPの場合

[スタート]→[コントロールパネル]→[サウンド、音声、およびオーディオデバイス]→[サウンドとオーディオデバイス]をクリック→[ハードウェア]タブをクリックし、お使いのCD-ROMドライブをクリックし、[プロパティ]をクリックします。
[プロパティ]タブをクリックし、[このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする]があるか確認します。
ある場合はチェックします。

●Windows 2000の場合:

[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[サウンドとマルチメディア]をクリック→[ハードウェア]タブをクリックし、お使いのCD-ROMドライブをクリックし、 [プロパティ]をクリックします。
[プロパティ]タブをクリックし、[このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする]があるか確認します。
ある場合はチェックします。

●Windows Meの場合

[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[システム]をクリック→[デバイスマネージャ]タブ内の[CD-ROM]をダブルクリックして下に表示されるデバイスをダブルクリックします。
[プロパティ]タブをクリックし、[このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする]があるか確認します。
ある場合はチェックします。

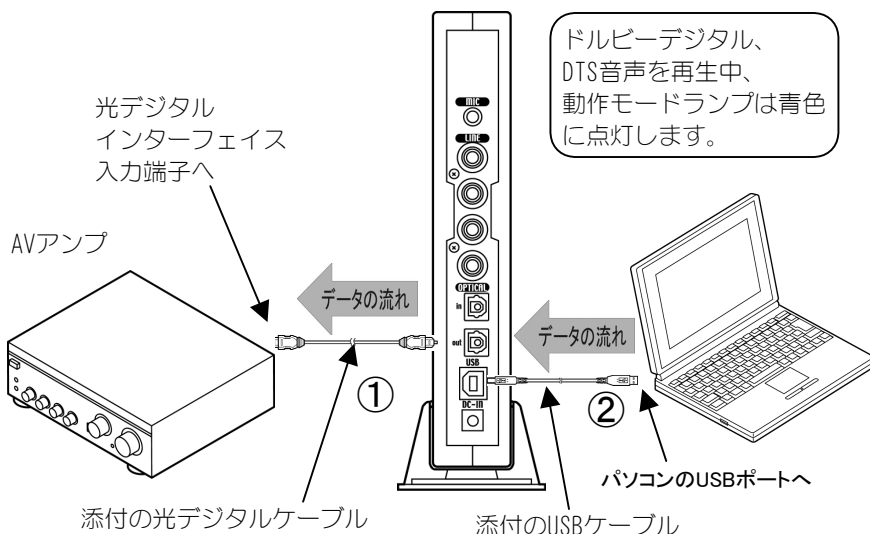
●Windows 98の場合

[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[マルチメディア]をクリックします。
[音楽CD]タブをクリックし、[このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする] があるか確認します。
ある場合はチェックします。

DVDをドルビーデジタル(5.1CH)、DTS音声で楽しむ

注意 Macintoshでお使いの場合は、この機能はお使いいただけません。

下記のように接続します。（光デジタル対応オーディオ機器との接続例です。）
DVDタイトルの再生には、添付の「WinDVD 3.1」をご使用ください。
※再生機器側で、ドルビーデジタル、DTSに対応している必要があります。

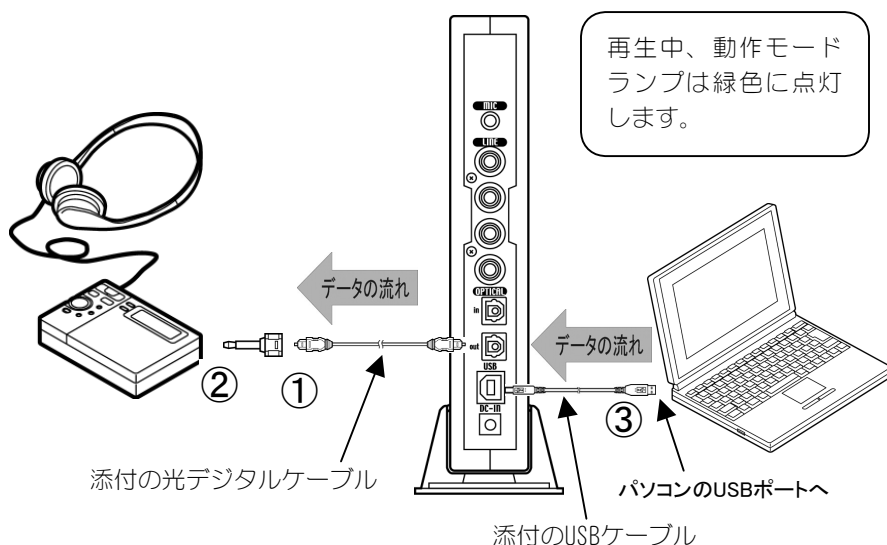
- **「WinDVD 3.1」の使用方法につきましては、本製品に添付されている CD-ROM 内の「WinDVD」フォルダ内の Readme.txt をお読みください。**
- **「WinDVD 3.1」にてドルビーデジタル、DTS 音声を再生中は、本製品に接続された機器側(AV アンプ等)で音量の調整を行ってください。**
- **「WinDVD 3.1」と他のDVDプレーヤーとの併用は避けてください。詳しくはインタービデオジャパン株式会社(64ページ参照)へお問い合わせください。**

① 本製品の「OPTICAL OUT」に光デジタルケーブルの端子を接続し、光デジタルケーブルのもう一方の端子をAVアンプの光デジタルインターフェイス入力端子に接続します。

② 本製品のUSBコネクタとパソコンのUSBポートを接続します。
③ 本製品の電源（POWER）を入れます。
④ 「WinDVD 3.1」を起動し、DVDを再生します。

ドルビーデジタル、DTS 音声をお楽しみになる場合は
添付の「WinDVD 3.1」画面内の[プロパティ]メニュー →[オーディオ設定]で、[S/PDIF 出力を有効にする(P)]を選択してください。

- **他の機器と接続するときは、必ずすべてのオーディオ機器の音量を絞った状態で電源を入れてください。本製品が誤動作したり、スピーカーなどが破損をする恐れがあります。**
- **モード切替スイッチを切り替える場合は、接続されているアンプやスピーカーなどのボリュームを絞ってください。**

MDレコーダーにデジタル録音する

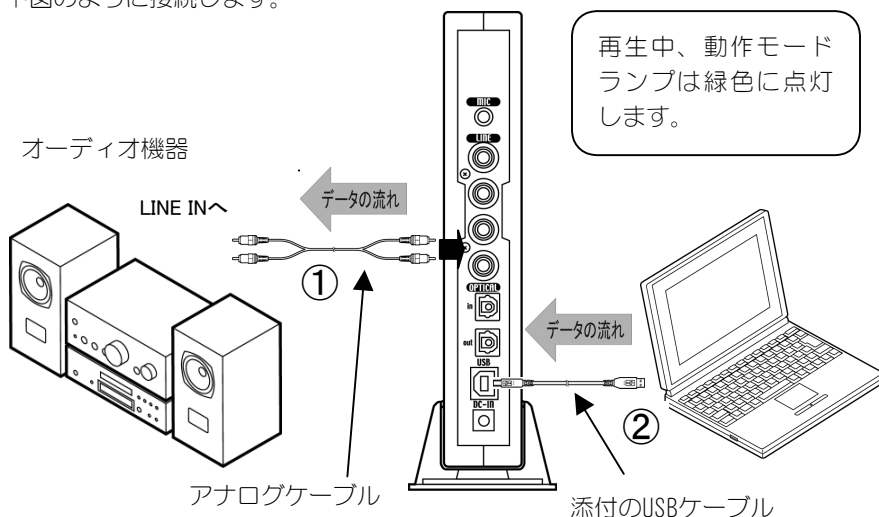
パソコンで再生した音声をMDレコーダーにデジタルで録音します。下記のように接続します。MDレコーダーは、録音待機状態にし、パソコン側で音声の再生をしてください。

① 必要があれば、光デジタルケーブルの一方の端子と、光端子変換プラグを接続します。

② 本製品の「OPTICAL OUT」に光デジタルケーブルの端子を接続し、光デジタルケーブルのもう一方の端子をMDレコーダーの光デジタル入力端子に接続します。

③ 本製品のUSBコネクタとパソコンを添付のUSBケーブルで接続します。

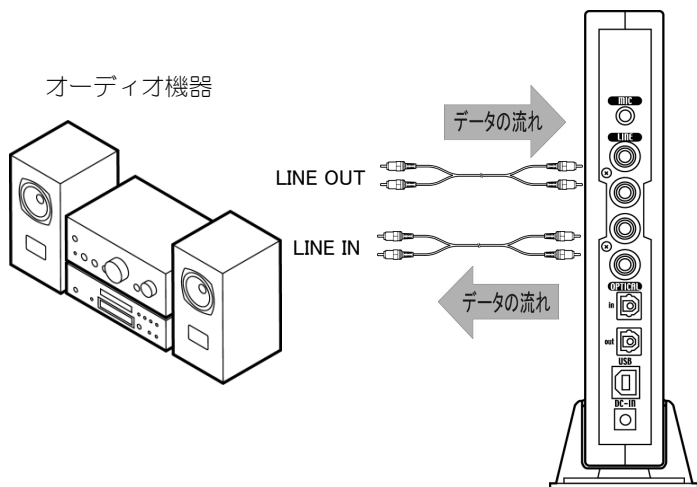
④ 本製品の電源（POWER）を入れます。

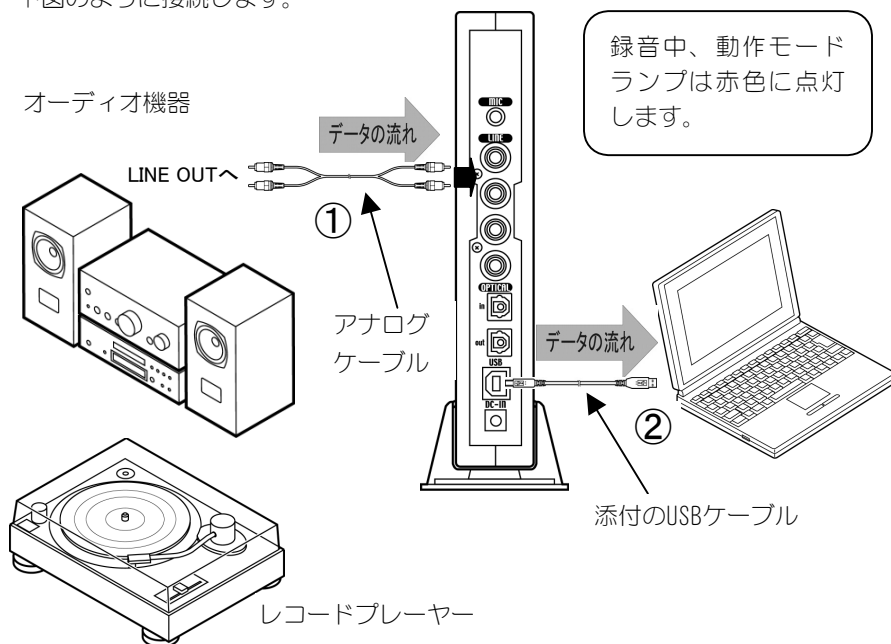
外部機器に録音する（アナログ出力）

パソコンで再生した音声をオーディオ機器等で録音することができます。
下図のように接続します。

① オーディオ機器等のLINE INと本製品のLINE OUTをアナログケーブルで接続します。
※アナログケーブルは本製品には添付されていません。別途ご用意ください。
② 本製品のUSBコネクタとパソコンを添付のUSBケーブルで接続します。
③ 本製品の電源（POWER）を入れます。

本製品は前面の音量調節ツマミ (OUTPUT LEVEL)でライン出力レベルを調節することができます。録音時に雑音等が入る場合は音量調節ツマミを使って出力レベルを少し下げてみてください。

◆ループ接続にご注意ください。◆

下記の図のように本製品の「LINE OUT」と接続オーディオ機器の「LINE IN」を接続し、さらに本製品の「LINE IN」と接続オーディオ機器の「LINE OUT」を同時に接続した場合、本製品と接続機器の間を音がループして発振してしまい、大きな音量になってしまうことがあります。
このような接続は、誤動作や故障の原因のもととなる恐れがありますのでお避けください。

ライン入力から録音する（アナログ録音）

オーディオ機器等からのライン出力をパソコンに取り込むことができます。
下図のように接続します。

① オーディオ機器等のLINE OUTと本製品の「LINE IN」をアナログケーブルで接続します。
※アナログケーブルは本製品には添付されておりません。別途ご用意ください。

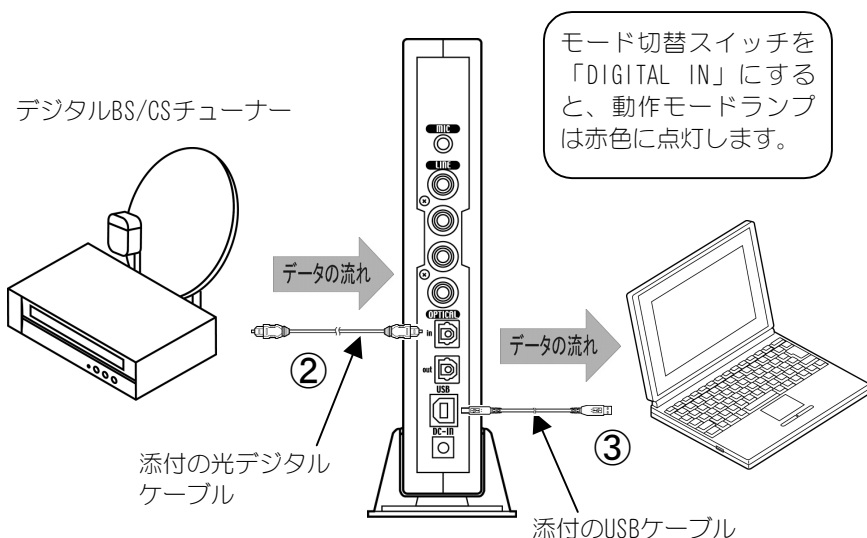
② 本製品のUSBコネクタとパソコンを添付のUSBケーブルで接続します。

③ 本製品の電源（POWER）を入れます。

④ 「DigiOnSound Light」（またはお持ちのソフトウェア）を起動し録音を行います。

本製品は前面のライン入力レベル調整ツマミ使って、入力レベルを調節することができます。録音時に雑音等が入る場合はライン入力レベル調整ツマミを使って入力レベルを少し下げてみてください。

光デジタル音声出力搭載機器からデジタル録音する

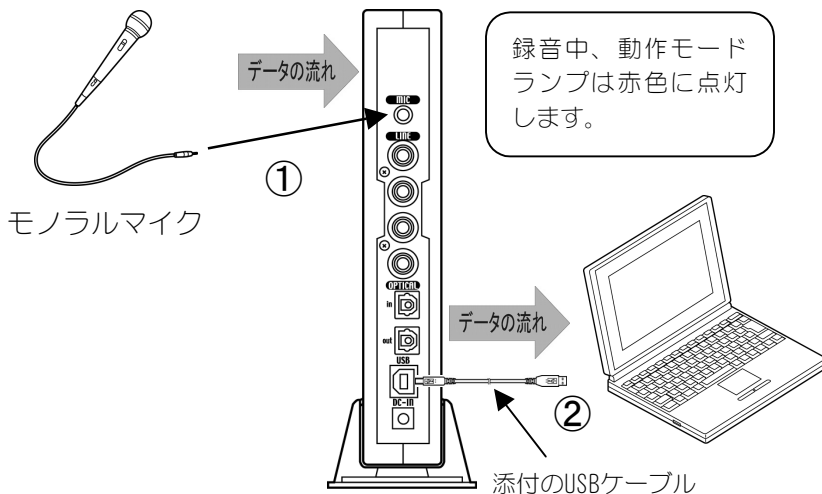
光デジタル音声出力搭載機器からの音をデジタルでパソコンに取り込むことができます。
下図のように接続します。下図はデジタル BS/CS チューナーと接続するときの例です。

① 前面のモード切替スイッチを「DIGITAL IN」にします。
② 光デジタル音声出力搭載機器の光デジタル音声出力端子と本製品の「OPTICAL IN」を接続します。
③ USBコネクタとパソコンを添付のUSBケーブルで接続します。
④ 本製品の電源（POWER）を入れます。
⑤ 「DigiOnSound Light」（またはお持ちのソフトウェア）を起動し録音を行います。

添付の DigiOnSound Light を使って録音する際には、録音サンプリング周波数を、DAT やデジタル BS/CS チューナーの場合は 48kHz、MD や CD の場合は 44.1kHz に設定してください。詳しくは DigiOnSound Light のヘルプをご覧ください。

・デジタル入力端子から録音中は、ライン入力端子、マイク入力ジャックから録音を同時に行うことはできません。

・本製品は SCMS(62 ページ参照)に対応しておりますので、オーディオ CD からコピーされた MD など、著作権保護のための符号が記録された音声をデジタル入力端子から入力した場合、本製品はこれをパソコンに録音することはできません。

マイクから音声を録音する（アナログ録音）

マイクからの音声をパソコンに取り込むことができます。
下図のように接続します。
※マイクはモノラルマイクをお使いください。

① マイクを「mic」に接続します。
② 本製品のUSBコネクタとパソコンを添付のUSBケーブルで接続します。
③ 本製品の電源（POWER）を入れます。
④ 「DigiOnSound Light」（またはお持ちのソフトウェア） を起動します。

本製品は前面のマイク入力レベル調節ツマミを使って、入力レベルを調節することができます。録音時に雑音等が入る場合はマイク入力レベル調節ツマミを使って入力レベルを少し下げてみてください。

動作モードランプについて

本製品は多くの機能が簡単に目で確認できるように、動作モードに合わせて前面のランプが様々な色に点灯します。
ここではランプの色別にあわせて本製品の動作モードを説明します。

Macintosh でお使いの場合は、ランプの色は動作モードを表していませんので予めご了承ください。

動作モード	色	説明	接続
マルチチャンネル	青	本製品がドルビーデジタル(2ch,5.1ch)、DTS 音声を出力中です。 ※本製品と接続する機器はドルビーデジタル (2ch,5.1ch)、DTS に対応している必要があります。 ※ラインアウトおよびヘッドフォンには音声は出力されません。	「OPTICAL OUT」と接続機器を光デジタルケーブルで接続します。 30 ページ参照
ステレオ	緑	本製品が 2ch PCM を出力中です。 「OPTICAL OUT」(光デジタル出力端子)、「LINE OUT」やヘッドフォンに音声が出力されます。	「OPTICAL OUT」と接続機器を光デジタルケーブルで接続します。 32 ページ参照 「LINE OUT」と接続機器をアナログケーブルで接続します。 33 ページ参照

レコーディング	赤	本製品が音声を録音中です。 録音中の音声を聞きたい場合は、「OPTICAL OUT」(光デジタル出力端子)、「LINE OUT」やヘッドフォンと接続してください。 (「LINE IN」やマイクからの音声は「OPTICAL OUT」(光デジタル出力端子)、には出力されません。) ※1	「OPTICAL IN」と接続機器を光ケーブルで接続します。 36ページ参照 「LINE IN」と接続機器をアナログケーブルで接続します。 35ページ参照
スタンバイ	白	本製品が準備中状態です。 パソコンに接続して、本製品の電源を入れてもランプが白のままの場合、正常に認識されていない可能性があります。このようなときは、本製品の電源を入れ直してみてください。(Windows Meの場合、認識直後は白のままです。)	
コピープロテクト	黄	本製品がパソコンに取り込むことのできない音声信号を検出しているときです。※2	

※1 モード切替スイッチを「DIGITAL IN」にして録音している場合は、「LINE OUT」やヘッドフォンからは、「OPTICAL IN」と「LINE IN」とマイクの音がミックスされて聞こえます。ただし、「OPTICAL IN」の音のみ録音されます。

※2 コピープロテクトとなる主な原因として次の2つが考えられます。

1) ドルビーデジタル、DTS 音声信号をデジタル入力端子から取り込もうとした時。
この場合入力されたドルビーデジタル、DTSの音声信号はデジタル出力端子からそのまま出力されます。

2) SCMS で著作権保護された音声信号をデジタル入力端子から取り込もうとした時。
この場合入力された SCMS で著作権保護された音声信号はデジタル出力端子からそのまま出力されます。

モード切替スイッチについて

本製品の音声入出力機能を使用する場合は、用途に合わせてスイッチの位置を下記の表のように切り替えてください。
モード切り替えスイッチを切り替える時は、接続されている機器のボリュームを絞ってください。

音声入出力状態	NORMAL	DIGITAL IN
DVDを再生するとき	■	
MDレコーダーにデジタル録音するとき	■	
ライン入力から録音する	■	
光デジタル音声出力搭載機器から デジタル録音する		■
マイクから音声を録音する	■	

添付ソフトウェアについて

本製品をより効果的にお使いいただくために、本製品には 3 種類のソフトウェアを添付しております。以下を参考にした上で、必要なソフトウェアをインストールしてください。

添付ソフトウェアについてのお問い合わせは
64ページ【サービス品に関するお問い合わせ】を参照してください。

WinDVD 3.1

WinDVD 3.1 は Windows 上で DVD を再生するソフトウェア DVD プレーヤーです。美しくクリアに DVD の映像を再生できるだけでなく、本製品と組み合わせて、光デジタル出力端子からドルビーデジタル(5.1ch)、DTS 音声を出力することができます。

WinDVD はドルビーマルチチャンネルと、ドルビーヘッドフォンの認証を取得!!
Windows XP/2000/Me/98/98 SE/95 OSR2/NT 4.0(SP4 以上)を
完全サポート!!
お手持ちのパソコンと WinDVD を使って高級 DVD プレーヤーに大変身!!

◆インストール方法◆

「D2VOXソフトウェア CD-ROM」をCD-ROMドライブに入れて、「WinDVD」フォルダの「Setup.exe」をダブルクリックします。あとは画面の指示にしたがって進めてください。
以下の画面が表示された場合は、「D2VOXソフトウェア CD-ROM」のカバーの表面に貼ってあるシリアルNo.を入力してください。
（D2VOXのシリアル番号ではありません。）
※半角/全角のお間違えのないように慎重に入力してください。
アルファベットの「I」、「O」と数字の「1」、「0」の違いにご注意ください。

◆主な機能◆

・WinDVDはドルビーマルチチャンネルの認証を取得しています。
・ドルビーデジタル出力（AC-3）5.1チャンネルと3Dポジショナルデジタルオーディオを完全サポートします。
※リテイル版に限ります。OEM版に関しましては、S/PDIF出力できる環境が必要になります。
・最新DTS出力とS/PDIF出力に対応しています。
・WinDVDはDVDプレーヤーが持つ基本的な機能を全て備えています。
・全地域CSSリージョンコードサポート（五回まで変更可能）
・フルスクリーン再生・ナビゲーションメニュー・カラオケ
・リアルタイムマルチアングルの切り替え
（最高9つのアングルまで）

・マルチ音声（最高8つの言語まで）・
　マルチ字幕（最高32種まで）
・パレンタルロック
・ノイズがない一時停止、早送り、早戻し、コマ送り再生機能
・リアルタイムに輝度と色合いを調整
・Windows XP対応（DirectX8対応になっているため、XP上のMediaPlayerにおいても問題なくDVD再生できます）
・VR再生対応（※ドライブがそのメディアに対応している必要があります。UDF2.0がシステムに入っている必要はございません。）
・タイムストレッチ機能（-0.7～+2.0倍速までの変速再生で、音声もそのスピードに合わせてお聞きいただけます。）
・ブックマークのサムネイル表示（ブックマークした画面を静止画にてサムネイル表示できます）
・DVD / SVCD / VCD / 音樂 CD / Enhanced CD各種メディア認識・自動再生
・流行のMP3音楽ファイルの再生
・映像加速モード、ビデオボード動き補償・再生支援(Hardware Motion Compensation)、IDCT
・日本語、英語、繁体中国語、簡体中国語、ドイツ語、イタリア語、オランダ語、スペイン語、ブラジル、ポルトガル(ブラジル)語、デンマーク語、フィンランド語、韓国語、ノルウェー語、スウェーデン語、タイ語など二十四種類の言語を自動認識し、インストールします。

◆効果◆

・再生はクリアで美しく、ほとんどコマ落ちしません。

・I IDCTとビデオボード動き補償・再生支援(HWMC)に対応。
24または30fps(秒間コマ数)で再生するとき、パソコンの負荷が少ないため、他の作業をよりスムーズに進行することができます。

DigiOnSound Light

DigiOnSound Light はパソコンでサウンド編集するのに最適な入門ソフトです。パソコンに取り込んだ音声を DigiOnSound Light の多彩な機能を用いて自由自在に編集・加工することが可能です。

◆インストール方法◆

「D2VOXソフトウェア CD-ROM」をCD-ROMドライブに入れて、
「DigiOnSoundLight」フォルダの「AutoRun.exe」をダブルクリックします。
あとは画面の指示にしたがって進めてください。
※シリアル No.の入力が必要な場合は、「DigiOnSound Light ユーザー登録はがき」に記載されているシリアルNo.を入力してください。
※Windows XP で使用するときはコンピュータの管理者のアカウントでログオン、Windows 2000 で使用するときは Administrator 権限でログオンしてください。

◆特徴◆

- 録音トラック数×6によるマルチトラック機能搭載。
- 編集機能、エフェクトは DigiOnSound と同内容、エントリー版と思えない編集加工が可能。
- AVI 形式のムービーファイルを読み込みサウンドとのノンリニア編集にも実力を発揮。

DJPAD 2020 ソフトウェア（体験版）

DJPAD 2020ソフトウェアはAとBの2つのターンテーブルにお好きな音楽ソースを読み込み、DJのように曲と曲を繋いだり、スクラッチ、エフェクト等の効果的な音をリアルタイムに創りだすことのできるソフトウェアです。
ここでは、主な機能について紹介します。詳しい操作方法についてはDJPAD 2020（体験版）のヘルプをご参照ください。
※本ソフトウェアは体験版ですのでサポート対象外となります。

◆インストール方法◆

「D2VOXソフトウェア CD-ROM」をCD-ROMドライブに入れて、「DJPAD2020」フォルダの「Setup」をダブルクリックします。あとは画面の指示にしたがって進めてください。

◆主な機能◆（以下の機能は製品版のものです。）

プレイリスト機能

プレイリストにはあらかじめMP3ファイル、CD、WAVEファイル等を好きな曲順で登録し保存しておくことが可能です。またプレイリストにはファイル名、曲の長さが表示され、BPMデータなども登録することもできます。BPMデータはリズムに合わせてクリックすることで測定可能です。

スクラッチ機能※

Soundgraph社によって開発されたDASA(Digital Audio Scratch Algorithm)により、MP3をはじめとするデジタルオーディオを付属のタッチパッドでスクラッチできます。これまでは“スクラッチ＝アナログレコード＋ターンテーブル”というのが当たり前とされてきましたが、DJPAD 2020は別売りのタッチパッドを用い、指先一本だけでスクラッチサウンドを創りだせます。

エフェクト機能※

強力なエフェクター機能が搭載されています。
あらかじめタッチパッド上に割り当てられた9つのスポットにお好みのWAVEファイルを設定し、曲の途中に効果的な音を挿入することができます。

※スクラッチ機能、エフェクト機能をご利用するときは、別売のDJPAD 2020製品版をお買い求めください。詳しくは弊社ホームページをご覧ください。

◆ その他の機能 ◆

・MP3,CDオーディオ、WAVEファイルを読み込み可能

流行のMP3ファイルをはじめとし、お好きな音楽をお好みの曲順で読み込むことができます。
曲と曲をリズムに合わせてフェードイン、フェードアウトも自由自在です。

・簡単デジタルスクラッチ！（別売の専用コントローラ必要）

DJPAD 2020に付属のUSB専用コントローラで簡単にスクラッチサウンドをクリエイト。指一本でアナログターンテーブルと同等の操作感覚を味わうことができます。

・エフェクター機能で効果音を活用（別売の専用コントローラが必要）

エフェクトパッド機能を用いると、サンプル音源をパッド上の9箇所に割り当てることができます。
指一本で自由自在にエフェクターとして使用することができます。

・ボリューム、ピッチコントロール機能

曲のボリューム、テンポを自由自在に操れます。別売りの専用コントローラのボリュームバーを用いて操作することも可能です。

・ドラムループ機能

曲と曲の間に効果的なドラムループを挿入できます。

・モニタリング機能

DJPADにはモニタリング機能があり、Direct Sound対応の3Dサウンドカードを持ちいれば、ヘッドフォンから次の曲をモニタリングすることができます。

・リミックスをWAVEファイルで書き出し

リミックスしたファイルはハードディスクにWAVEファイルとして保存可能です。CD-Rドライブがあれば、オリジナルリミックスCDを作成し楽しむことができます。

・オリジナルリミックスをMDで書き出し

D2VOXとMDを接続すれば、DJPAD2020でリミックスした音楽をリアルタイムにMDに録音できます。 旅先や車の中で、あなたのオリジナルMDを楽しみましょう。

付録

困ったときには

MDレコーダーに録音されない

対処1 **MDレコーダーは録音待機状態になっていますか？**

MDレコーダーでの録音方法等については、MDレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

対処2 **本製品から音声が出力されていますか？**

次ページ「本製品から音声が出力されていない」の対処方法を参照してください。

MDレコーダーの表示部に「Din Unlock」という文字が点滅する

対処 **シャープ製MDレコーダの一部の機種でこの現象が確認されています。**

この現象が発生しても、ご使用上の問題はありません。そのままご使用ください。

MIDIが再生できない（Windowsのみ）

対処 **本製品を接続したままWindowsを再起動してみてください。**

Windows起動中に本製品をパソコンから外し、その状態でパソコン内蔵のサウンドボードを使ってMIDIの再生をした場合、本製品を接続しなおしても本製品から音の出力がされない場合があります。このような場合は、本製品をパソコンに接続したままWindowsを再起動してみてください。

本製品から音声が出力されない

対処 パソコンの設定で、本製品が選択されていない

パソコン側で本製品を選択してください。設定方法はお使いのOSのページをお読みください。

- Windows XPの場合→以下の手順
- Windows 2000/Meの場合→次ページ
- Windows 98の場合→55ページ

Windows XPの場合

[スタート]→[コントロールパネル]→[サウンド、音声およびオーディオデバイス]→[サウンドとオーディオデバイス]を順にクリックします。

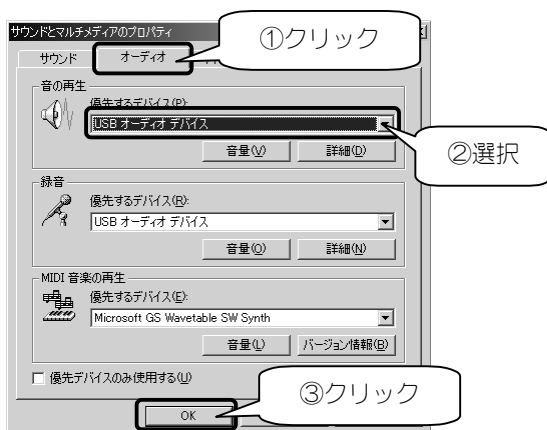
[オーディオ]タブをクリックし、[音の再生]欄の[既定のデバイス]で[D2VOX USB Audio Device]を選択して、[OK]ボタンをクリックします。

これで、正常な状態で本製品をお使いいただけます。

Windows 2000/Meの場合

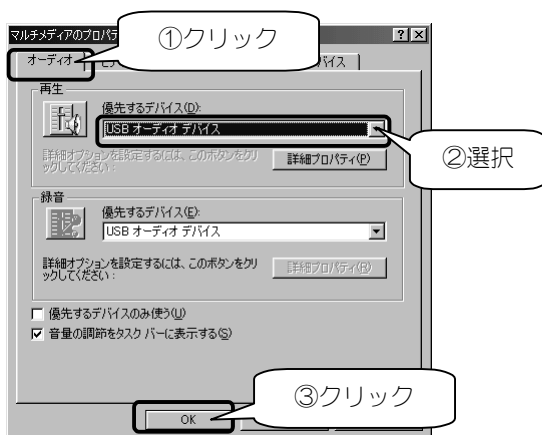
[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[サウンドとマルチメディア]を順にクリックします。

[オーディオ]タブをクリックし、[音の再生]※欄の[優先するデバイス]で[USBオーディオデバイス]を選択して、[OK]ボタンをクリックします。

※Windows Meの場合は「再生」

これで、正常な状態で本製品をお使いいただけます。

Windows 98の場合

[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[マルチメディア]を順にクリックします。

[オーディオ]タブをクリックし、[再生]欄の[優先するデバイス]で[USBオーディオデバイス]を選択して、[OK]ボタンをクリックします。

これで、正常な状態で本製品をお使いいただけます。

本製品に入力した音声が録音できない

対処1

パソコンの設定で、本製品が選択されていない

パソコン側で本製品を選択してください。設定方法はお使いのOSのページをお読みください。

・Windows XPの場合→57ページ
・Windows 2000/Meの場合→58ページ
・Windows 98の場合→59ページ

対処2

入力した音声がドルビーデジタル、DTSまたはSCMSで保護された音声ではありませんか？

これらの音声は録音することはできません。この場合、動作モード表示ランプは黄色になります。

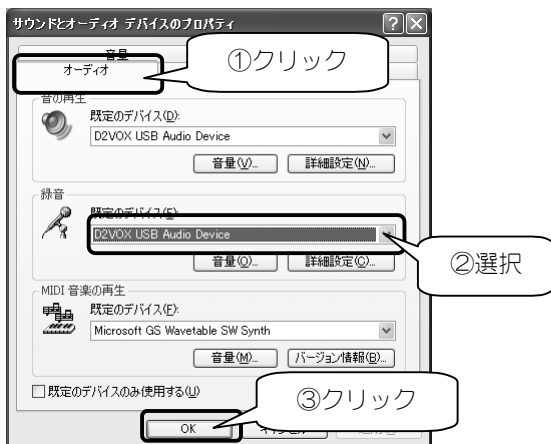
対処3

光デジタル入力端子から入力した音声のサンプリング周波数と、録音ソフトで設定したサンプリング周波数が合っていない

デジタルで入力した音声を録音するときは、サンプリング周波数を合わせる必要があります。入力しているサンプリング周波数は出力している機器の取扱説明書をご覧ください。

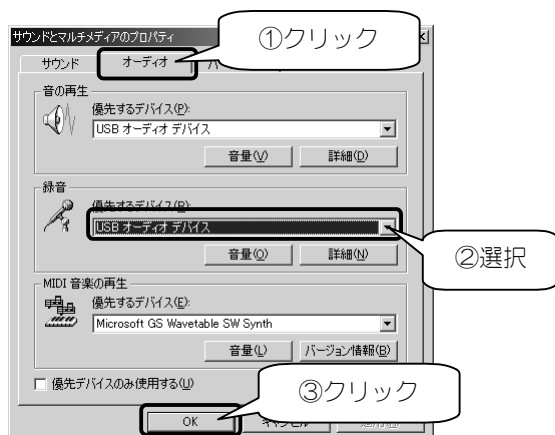
Windows XPの場合

[スタート]→[コントロールパネル]→[サウンド、音声およびオーディオデバイス]→[サウンドとオーディオデバイス]を順にクリックします。

[オーディオ]タブをクリックし、[録音]欄の[既定のデバイス]で[D2VOX USB Audio Device]を選択して、[OK]ボタンをクリックします。

これで、正常な状態で本製品をお使いいただけます。

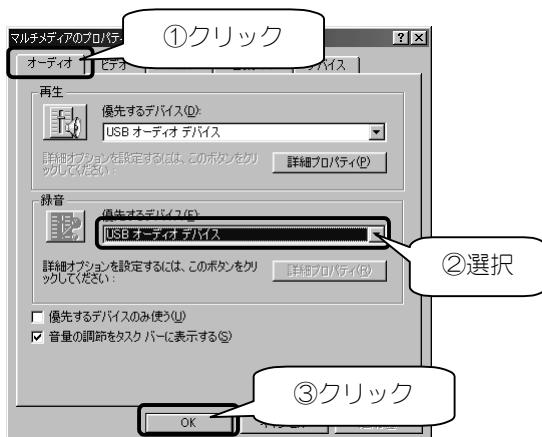
Windows 2000/Meの場合

[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[サウンドとマルチメディア]を順にクリックします。

[オーディオ]タブをクリックし、[録音]欄の[優先するデバイス]で[USBオーディオデバイス]を選択して、[OK]ボタンをクリックします。

これで、正常な状態で本製品をお使いいただけます。

Windows 98の場合

[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[マルチメディア]を順にクリックします。

[オーディオ]タブをクリックし、[録音]欄の[優先するデバイス]で[USBオーディオデバイス]を選択して、[OK]ボタンをクリックします。

これで、正常な状態で本製品をお使いいただけます。

パソコンが起動しない、または省電力モードから復帰できない

対処 以下の方法でもう1度接続してください。

本製品を接続した状態でパソコンが起動しなかったり、省電力モードから復帰できない場合は、いったんパソコンの電源を切り、本製品をUSBポートから抜いてください。その後、再びパソコンの電源を入れ、パソコンが完全に起動したことを確認後、本製品を接続してください。

「WinDVD 3.1」が正しく動作しない

対処 インタービデオジャパン株式会社へお問い合わせください。

問い合わせ先は、本書64ページ【サービス品に関するお問い合わせ】を参照してください。

仕様

型番	D2VOX
インターフェイス	USB Specification Ver.1.1 準拠 X１
USBハブポート	USB Specification Ver.1.1 準拠 X２
音声入出力端子	ライン入力ジャックX１、マイク入力ジャックX１、 ライン出力ジャックX１、光デジタル入力端子X１、 光デジタル出力端子X１、ヘッドフォン出力端子X１
サンプリング周波数	入出力 32kHz,44.1kHz,48kHz
周波数特性	0 ～ 19.2kHz
量子化ビット	16ビット
使用温度範囲	+5℃～+35℃ （パソコンの動作する温度であること）
使用湿度範囲	20％～80％ （結露しないこと。パソコンの動作する湿度であること）
電源電圧	AC100V(50/60Hz)/専用ACアダプタ
消費電流	最大 1.3A（USBハブ使用時）
サイズ	61（W）× 141（D）×193（H）mm （ケーブル等突起部を除く、スタンド含む）
質量	約310g（スタンド含む）

用語解説

DTS　（*Digital Theater System*）

映画の世界で完成したテクノロジーをホームシアター用に発展させたのが、DTSです。 完全に独立した 6 チャンネルによる唯一の 5.1 サラウンド・サウンド音場は、CD を凌駕するクリアーな音質と、革命的 3 次元の体験をリスナーに提供します。 音楽は、独自の録音による DTS-CDで、 映画はDTS-LD、DVDで提供されております。

PCM（ピーシーエム）（*Pulse Code Modulation*）

デジタル信号をまったく圧縮せずに記録しておく方式です。CD-Audio、また、DVD でもこの音声記録方式に対応しています。複数のサンプリングレートと量子化ビット（16、20、24bit）が規定され、高品質な再生が可能です。

SCMS（エスシーエムエス）（*Serial Copy Management System*）

DAT レコーダーや MD レコーダーなど民生用デジタル・オーディオ機器において、デジタル接続による二世代以降の録音を禁止し、製作者の著作権を保護する機能のことをいいます。

ドルビーデジタル（*Dolby Digital*）

DVD に採用されている音声の記録方式です。特に、ドルビーデジタル 5.1ch 方式では、フロント 3ch、サラウンド 2ch、サブウーハー0.1ch で計 5.1ch を用いて、映画館の迫力と臨場感あふれる立体音場を家庭で再現できます。

サポートセンターへのお問い合わせ

■お知らせいただく事項

1. お客様の住所・氏名・郵便番号・連絡先の電話番号及びFAX番号
2. ご使用の弊社製品名
3. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
4. ご使用のOSとアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
5. 現在の状態(どのようなときに、どうなり、今はどうなっているか。画面の状態やエラーメッセージなどの内容)。

■オンライン

インターネット　**http://www.iodata.jp/support/**

■郵便

〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地　アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
サポートセンター「D2VOX」係　宛

■電話

電話番号　**金沢**　**076-260-3646**
　　　　　東京　**03-3254-1036**
受付時間　**9:30～19:00　月～金曜日(祝祭日を除く)**

■FAX

FAX番号　**金沢**　**076-260-3360**
　　　　　東京　**03-3254-9055**
宛先　**株式会社アイ・オー・データ機器**
サポートセンター「D2VOX」係　宛

本製品に関するお問い合わせは、サポートセンターのみで行っています。
予めご了承ください。

サービス品に関するお問い合わせ

サービス品（添付ソフト）に関しては、以下へお問い合わせください。

サービス品につき、弊社ではサポート致しておりません。

「WinDVD 3.1」に関するお問い合わせ

インタービデオジャパン株式会社

住所：〒108-0074　東京都港区高輪 2丁目14番17号 グレイス高輪 9F
ホームページ：http://www.intervideo.co.jp/
ユーザーサポート e-mail：support@intervideo.co.jp
電話番号：03-5447-0576
FAX番号： 03-5447-6689
受付時間：月～金曜日　9:30～12:00、13:30～17:00
（祝祭日を除く）

「DigiOnSound Light」に関するお問い合わせ

デジオンサポートセンター

住所　：福岡市早良区百道浜 2 丁目 3 番 8 号　RKB 放送会館 4F
電話番号：092－833－6288
FAX 番号：092－833－6278
E-Mail　：support@digion.com
受付時間：月～金曜日（祝祭日を除く）　10:00～12:00、13:00～17:00

保証について

■保証期間

保証期間は、お買い上げの日より１年間です。保証期間を過ぎたものや、保証書に販売店印とお買い上げ日の記述のないものは、有償修理となります。また、修理を受ける場合には保証書が必要になりますので、大切に保管してください。
弊社が販売終了を決定してから、一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
詳細は、ハードウェア保証書をご覧ください。

■保証範囲

次のような場合は、保証の責任を負いかねます。予めご了承ください。

- 本製品の使用によって生じた、データの消失及び破損。
- 本製品の使用によって生じた、いかなる結果やその他の異常。
- 弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障。

修理について

製品の修理につきましては、以下の事項をご確認の上、販売店へご依頼いただくか、または下記修理品送付先までお送りくださいます様、お願い致します。

- 原則として修理品は持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様負担とし、修理後の返送費用は負担させていただきます。
  また、修理品のデータに関しましては保証いたしかねます。
- 修理品にはご使用の環境や現在の状態（『サポートセンターへのお問い合わせ』の「お知らせいただく事項」）をお書き添えください。
- 保証期間中は無償で修理いたします。ただし、次の場合は有償となります。
  ◇保証書がない場合
  ◇保証書の所定事項が未記入の場合
  ◇逆挿入など誤った操作方法や、お買い上げ後の輸送、落下、取り付け場所の移設による破損、故障の場合
  ◇落雷などの事故による破損の場合
  ◇本製品を改造した場合
- 保証期間後は有償で修理いたします。
  製品によっては主要部品がユニット化（一体化）されている場合があります。これらの製品で故障が主要部品におよんでいた場合、各ユニットの交換を実費で行います。
- 修理品送付先

住所　〒920-8513
石川県金沢市桜田町2丁目84番地　アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
「D2VOX」修理係　宛

※修理品を送付される場合は、輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材を使用してください。また、紛失等のトラブルを避けるため、**宅配便**または**書留郵便小包**でのご送付をお願いいたします。

- 修理品納期問い合わせ窓口

受付窓口　「D2VOX」サービス窓口
電話番号　金沢　076-260-3663
受付時間　9:30～12:00　13:00～17:00　月～金曜日（祝祭日を除く）

※申し込まれた修理品の納期をお知りになりたい場合は、上記までお問い合わせください。